

## 第11回

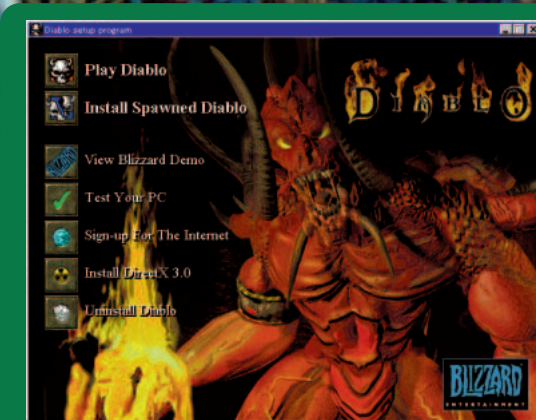
世界中の人と出会えるロールプレイングゲーム

# DIABLO

小笠原 誠

私はいま、非常に迷っている。果たして、真面目な読者が多いという本誌で、このソフトを紹介していいものかどうか。いや、内容が不謹慎だとか、出来自体がいまひとつというわけではない。そのまったく正反対なのだ。もう、とにかくおもしろい。その魅力たるや、もはや麻薬的とも言えるほどで、ひとたび禁断の味を知ってしまうと、もう二度と規則正しい健康的な生活には戻れない。不肖この私など、この「DIABLO」を知って以来、のべつまくなしにマウスを握りしめている有様。おかげで、睡眠時間は極端に少なくなるわ、仕事は遅れるわで、生活はボロボロ。でも、ふと気が付くと、またプレイしちゃっているんだよなあ。というわけで、今回紹介する「DIABLO」に挑戦する場合は、事前にそれなりの覚悟をしておく必要がある。ハマルよー、これは。

# 初回 ゲームの王国



開発元 : BLIZZARD ENTERTAINMENT  
価格 : 6,000 - 7,000円 (並行輸入版)  
関連情報 : <http://www.blizzard.com>  
<http://www.battle.net>  
動作環境  
対応OS : ウィンドウズ95、  
ウィンドウズNT 4.0  
CPU : ペンティアム60MHz以上  
対応機種 : PC/AT互換機  
( PC-9821でも動作可能 )  
メモリー : 16Mバイト以上  
( マルチプレイヤーモード時 )

# Role Playing Game

## 魔のダンジョンで 繰り広げられる冒険の旅

みなさん、いまから10年ほど前にリリースされた、「WIZARDRY」というゲームをご存知だろうか。かつて本国アメリカのみ

ならず、我が日本でも大ヒットを記録したこのタイトルは、「ULTIMA」や「ROUGE」などと並び、コンピューターRPG(ロールプレイングゲーム)の元祖と称される作品。とはいえこのソフト、現在の一般的なRPGとは、大きく異なる雰囲気を持っていたのだ。

「WIZARDRY」では、プレイヤーは6人構成のパーティーを操作し、ワイヤーフレームで描かれた3Dダンジョン内を探索していく。このシステム自体は、現代のRPGにも通じるものがある。問題は、ストーリー性だ。一応、このソフトにも、宝物を奪った悪の魔導師を倒すというストーリーがあるにはあった。しかし、それは、あくまでゲームを成立させるために用意されただけのものであり、実際にゲームを進めていく作業には、ほとんど関係なかったのだ。

それに対し、現在のRPGといえば、「ドラゴンクエスト」にしる、「ファイナルファンタジー」にしる、山あり谷ありのドラマてんこ盛りのソフトばかり。そうした作品しか知らない人だと、ストーリー性が薄いRPGなんてどこが楽しいの? そう感じてしまうかも知れない。しかし、

めちゃくちゃ楽しかったんだなあ、これが。

戦闘を繰り返すことによって成長し、どんどん強くなっていくキャラクター。その、自分が作成したキャラクターを手塩にかけて成長させていく行程には、作り手が用意したストーリーをなぞっていく作品とは、また違った楽しさがあった。そして、その冒険をさらに楽しくするのが、敵がランダムで落ちていくアイテムの数々。中には数千分の1の確率でしか出現しないアイテムなんてものもあって、それ欲しさにモンスターを殺戮しまくったものだ。

なぜこんな話をしたかという、今回紹介する「DIABLO」を初めてプレーしたとき、これは現代版の「WIZARDRY」なのではないかと感じたから。もちろん、両者の間には、直接の関係はない。しかし、「DIABLO」のキャラクターを成長させていく楽しさと、アイテムを収集していく楽しさは、まさに現代版の「WIZARDRY」しかも、「DIABLO」では、「WIZARDRY」の時代には夢にしか過ぎなかった、見知らぬ者同士が協力して冒険を進める、マルチプレーも楽しめるようになっている。これはもう、よほど

のゲーム嫌いであれば、必ずハマってしまうこと請合いだ。特に、ゲーム好きを自認する人なら、必ずプレーしなければならぬ。これほど自信を持って薦められるソフトというの

も、滅多にないぞ。

しかし、「DIABLO」にも、残念な点はある。それは、少々入手が難しいということ。現在このソフトを手に入れるには、並行輸入版を購入するしか方法がない。一応、秋葉原や日本橋の並行輸入ゲームソフトを販売しているショップは、ほぼ100パーセントこの作品を扱っているのだが、入荷した途端に売切れという状態が続いている。運が悪いといつ行っても在庫がないという破目に陥りかねないのだ。ここはむしろ、インターネット上で輸入ソフト販売を行っているサイトを探してみた方がいいかも知れない。

なお、BLIZZARD ENTERTAINMENTのホームページ(<http://www.blizzard.com/>)にはお試し版の「DIABLO」もアップロードされているのだが、なんとこれが50Mバイト超というとんでもないボリューム。専用線を使用している幸運なユーザー以外、これをダウンロードするというのは不可能に近いだろう。



DIABLO

# START!

## 冒険の準備を整えろ!

めくるめく冒険の旅に、いざ出発せん。さっそく未知の冒険者たちが待っているマルチプレーモードに挑戦、といきたいところなのだが、ここはぐっと我慢。確かに「DIABLO」の真髄はマルチプレーモードにあるのだが、ズブの素人の状態で対戦に参加しては、他のプレイヤーの迷惑になるだけ。まずはひとりで遊ぶシングルプレーモードをひと通り遊んで、基本的なゲームシステムを把握しよう。

まず最初にすべきことは、自分の分身となるキャラクターの作成だ。実際の作業は、WARRIOR(戦士)、ROUGE(盗賊)、SORCERER(魔法使い)、以上3種類の中から好みの職業を選び、名前を付けるだけ。しかし、ここで慌ててはいけぬ。どの職業を選ぶかによって、ゲームの進めかたが大きく

変わってしまう。

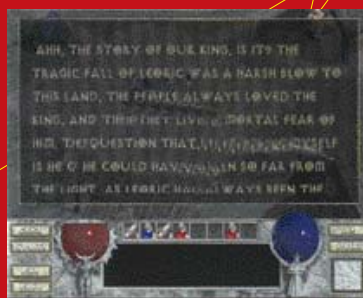
多くのゲームでは、キャラクターがある程度成長すると、各能力が上昇しきってしまい、結局どの職業を選ぼうが差がなくなってしまうというパターンがある。しかし、このゲームでは、各職業ごとに能力の上限が設定されているため、最初にどの職業を選択するかが非常に重要になるのだ。

WARRIORは肉弾戦に強く、ROUGEは素速くて弓の扱いに長けており、当然ながらSORCERERは魔法を得意としている。それぞれ初期装備は剣、弓、棒。このうち、初心者にお薦めするのは、WARRIORだ。この職業のキャラクターは、ゲーム序盤から終盤まで、平均的に能力を発揮してくれる。中盤以降、飛び道具を使う敵が出現するようになると少々キツクはなるのだが、それも体力回復

アイテムをたくさん持っていればなんとかなる。それに対してSORCERERは、やや上級者向けという印象が強い。ある程度まで成長し、強力な魔法を手に入ればそれこそ魔神のような強さを発揮してくれるのだが、そこまでが大変。特に序盤は、死にまくることを覚悟しなければならないだろう。それではROUGEはというと、これがどうも中途半端な印象が拭えない。唯一、キャラクターのグラフィックが女性という点がセールスポイントかも。



▲ ゲームが始まる時にキャラクターを選ぶ。



▲ 噴水のそばに立っている老人。アイテムに値を付けてくれる。



▲ GOLDをたくさん集めて武器をグレードアップしよう。

## 村の住人を活用せよ!

「DIABLO」で冒険が行われるのは、あくまでダンジョンの中。ということで、スタート地点となる村は、非常にごんまりしたものになっている。しかし、小さいからといって侮ってはいけぬ。プレイヤーが冒険を進める上で必要になる機能は、すべてここに集約されているのだ。

回復系のアイテムを売ってくれるヒーラー。迷宮で拾ったアイテムを鑑定してくれ

る長老。魔力回復アイテムや、魔法書を買っている魔法使い。武器の販売と買い取りを行う武器屋。村の片隅でアイテムを販売している少年。そして、冒険に有益な情報を教えてくれる宿屋のオヤジと、若い女性。彼らの助けなしに冒険を進めることは困難だ。まずは村中を歩き回り、どの村人がどういう役目を持っているのかを確認しておこう。



▲ 町の広場。いろいろな人に話を聞いて情報を集めよう。

# BATTLE!

## いざ、迷宮へ!

村の様子を確認したら、さっそくダンジョンに突入だ。もちろん、ダンジョン内はモンスターでいっぱいなので、油断は禁物。少し進んでは敵を倒し、また少し進んでは敵を倒していくように心掛けよう。もし、体力や魔力が危なくなったら、即座に地上に戻って回復すること。下手に先を急ぐと、対処可能な数以上の敵に取り囲まれ、にっちもさっちもいかなくなってしまう。

では、「DIABLO」の迷宮は、いったいどの程度の大きさなのだろうか。答えはずばり、

全16階。この広大な迷宮は、4階ごとに、DUNGEON(ダンジョン)、CATACOMBS(地下墓地)、CAVES(洞窟)そしてHell(地獄)という階層に分かれている。

地下16階に当たる最終フロアには、ソフトの題名となった「DIABLO」が待ち受けている。地獄のプリンスと称されるこの強敵を倒すことが、とりあえずこのゲームの目的となるわけだ。

なお、ゲームを進めていくと、「××を倒してくれ」とか、「××を持ってきてくれ」といっ

た類のいわゆる小クエストが与えられることがある。ダンジョン内で書物を読んだり、地上で村人に頼みごとを持ちかけられたりすることによって発生するのだが、実はこれらのクエストは、ごく一部を除き、直接ゲームの進行には関係がない。先を急ぎたいのなら、無視しても結構だ。ただし、各クエストをクリアすると、御褒美としてそれなりのアイテムが手に入るので、さほど面倒に感じないなら、とりあえず挑戦してみる価値はある。



▲「DIABLO」の迷宮マップは、ゲームスタート時に自動生成される。つまり、プレイヤーごとに構成が異なるというわけだ。とはいえ、あまり大した違いは感じられないというのも事実なのだが・・・。



### ゲームが進めば・・・

各階層の最初の階、つまり、地下1階、地下5階、地下9階、そして地下13階には、直接地上へと通じる通路が用意されているが、シングルプレーモードの場合、それらの通路はいったん下から上がらないと利用できなくなっている。とりあえずは、地道に1階1階潜っていくしかない。



▲ レベル5にある階段。一気に地上に出られる。

# レベルアップ!

## キャラクターの成長こそ「DIABLO」の命

とりあえずDIABLOを倒せば、エンディングのムービーを見ることができる。しかし、それでゲームが終わったというわけではない。冒

頭でも述べたように、このソフトの面白さの本質は、キャラクターをとことん成長させることにあるのだ。



▲ やっとレベル10だ。まだまだ先は長い……

### レベルアップ

キャラクターを成長させる第一の手段は、敵を倒して獲得する経験値によるレベルアップだ。キャラクターの能力を表すパラメーターは、STRENGTH(腕力)、MAGIC(魔力)、DEXTERITY(素速さ)、VITARITY(体力)以上の4種類となっている。1回レベルアップするごとに、プレイヤーには5ポイントのボーナスポイントが与えられる。このポイントを、以上の各パラメーターに、自由

に振り分けることができるのだ。人によって振り分け方は分かれるだろうが、キャラクターの職業の特質に合ったパラメーターを伸ばしたほうがうまくいく。また、迷宮内で拾ったり、ゲーム中盤以降は地上のショップで購入することができるようにも、これらのパラメーターはアップさせることが可能だ。



▲ 武器のステータス画面。あとどれくらいのアイテムを持てるかも一目で分かる。

### アイテム

しかし、各パラメーターは、職業によって上限が決まっているため、レベルアップを重ねるていくうちに、頭打ちになってしまう。そこで出番となるのが、キャラクターを成長させる第二の手段、魔法のアイテムだ。敵の落とすアイテムの中には、特定のパラメーターをアップしたり、特定の攻撃に対する耐性を向上させるといった、特殊な効果を発揮するものが混じっている。"NOT IDEN-

TIFY"と表示されるアイテムを取得したら、さっそく村の長老に鑑定してもらおう。当然、いいアイテムはなかなか出ないが、その分手に入ったときの喜びは格別。思わず小躍りしてしまうほどだ。



▲ 魔法のステータス画面。またアイテムの修復と体力の回復しかなできない。

# Preference

## マルチプレーモードに挑戦!

シングルプレーモードでDIABLOを倒すことができれば、いよいよマルチプレーモードに挑戦だ。シングルプレーモード用のキャラクターは、マルチプレーモードで使用することはできないので、まずはマルチプレーモード用のキャラクターを作成しよう。

DIABLOは、ケーブル接続、LAN、モデム直結など、さまざまな形態の通信対戦に対応している。その中でももっともおすすめるのは、インターネット上で最大4人のプレーヤーが参加することができる、「BATTLE NET」だ。通信方法の選択画面で「BATTLE NET」を選択すれば、自動的にダイヤラーが起動し、空いているサーバーを探し出して接続してくれる。このBATTLE NETには、世界各地のプレーヤーが参加している。その様子は、まるでスリルを求める勇者たちが、各地から集まっているかのよう。ファンタジー小説の世界そのままの雰囲気だ。

ところで、せっかく育てたキャラクターを使えないというのなら、わざわざシングルプレーモードで練習などせず、最初からマルチプレーモードをプレーすればよかったのと思う人もいるかも知れない。しかし、それはおすすめてきかねる。とんでもなく難しいのだ、これが。

シングルプレーモードとマルチプレーモードの相違点は、単に複数のプレーヤーがゲームに参加できる点だけではない。実際にゲームを進める上でもっとも大きいのは、マルチプレーモードでは、データのセーブが自動となっている点だ。勝手にセーブしてくれるなら、その方が楽だって? いやいや、これがクセモノなのだ。マルチプレーモードでは、迷宮内でキャラクターが死んでしまうと、地上の村で再スタートとなる、そのさい、お金が約半分以上なくなってしまううえに、装備していたアイテムが無くなってしまふのだ。はぎ取られたアイテムは、他のプレーヤーに取られない限り、キャラクターがまだその場所に転がっているのだが、まる裸の状態で再びそこまで戻るのは超大変。結局、せっかく集めたアイテムを諦めることになってしまう。そのゲームの進め方の難しさたるや、シングルプレーモードの数倍以上。初心者がいきなり挑戦しても、すぐに投げ出してしまうことになるのは間違いない。



▲ 初期画面で「MULTI-PLAYER GAME」を選ぶとこの画面になる。「BATTLE-NET」を選ぶ。



▲ 接続が可能なサーバーが一覧表示される。どれか選んでダブルクリックする。



▲ 参加できるチームが一覧表示できる。どれかを選んで「OK」ボタンを押す。



▲ マルチプレーヤーの場合、ほかのプレーヤーから思わぬプレゼントをもらうことも。

## BATTLE NET 四ヶ条

### 一、コミュニケーションを図るべし

BATTLE NETでは、ゲーム中いさゝか会話をしなくても、冒険を進めることはできる。しかし、それではあまりに味気ない。せっかく同じ目的を持つ同士が出会うのだから、チャットウィンドウを駆使して他のプレーヤーとコミュニケーションを持った方が、ゲームがより楽しくなる。ただし英語だけだ。

### 一、違法改造は厳禁すべし

インターネット上には、シングルプレーモードで育てたキャラクターをマルチプレーモードで使用できるようにするといった改造プログラムが流通している。だが、これらのプログラムに手を出してはダメだ。そんなことをしちゃ、コソコソ真面目に冒険をしている人が馬鹿を見ちゃうでしょ。

### 一、プレーヤー同士の殺し合いは避けるべし

「DIABLO」のマルチプレーモードでは、各プレーヤーが協力してモンスターを倒していく普通の遊びかたのほか、プレーヤー同士が直接腕を競い合う「殺し合う」ということもできる。それもまたBATTLE NETの遊び方のひとつなのだが、あまり他のプレーヤーへ攻撃ばかりしていると、真つみ者になってしまうぞ。

### 一、危ない輩に気を付けるべし

世の中にはいるんな人間がいるもので、BATTLE NETの世界には、他のキャラクターを殺してアイテムを奪うことに無情の喜びを感じる、とんでもない輩もいる。レベルの低いプレーヤーがこんな運中に遭遇したら、もうお手上げ。諦めるしかない。いつの日かもっと強くなって復讐を果たすことを誓うべし。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)